

Tachibana Medical Corporation

医療法人 橘会

# 東住吉森本リハビリテーション病院

Higashisumiyoshi Morimoto Rehabilitation Hospital

## 【病院案内】



## ～ 病院理念～

- 1：患者様の立場に立った対話のある医療を提供するために努力します。
- 2：地域医療施設との連携を深め地域医療に貢献するために努力します。
- 3：より良い患者サービスをするために働きがいのある職場環境の改善・維持に努めます。

## ～ 基本方針～

- 1：患者様と共に障害の克服に努め、家庭や社会への復帰を目指します。
- 2：全人的医療を行うため全職員が連携して患者様一人一人に統合的アプローチを行います。
- 3：地域医療機関と連携し、患者様とご家族様を支える環境構築に協力して、暮らしを応援します。
- 4：職員が意欲を持って働くことのできる病院を目指します。

## 今日の後には明日がある、 明日の後には明後日がある。 これからはあなたの人生です。

東住吉森本リハビリテーション病院は、365日、休日も休まずリハビリテーションを行う中、「視点」と「連携」を大切にしております。時として医療人は、治すことに囚われるがあまり、病気ばかりをみて、人間そのものをみるという視点が少しおろそかになっていることがあるかもしれません。我々は、その人が患った障がいを診る、その人が強いられた不自由と精神的負担を見る、その人自身とご家族様を視る、その人の人生を眺めることを心掛け、そして、その人の笑顔を観たいと考えています。そのために、患者様に関わる全てのスタッフが有機的に連携し、あらゆる角度から出来る限り早い機能回復や生活能力の向上を全力でサポートします。同時に、地域の医療・介護機関や法人内の他施設とも綿密に連携し、退院後に安心して地域で暮らしていけるための支援を行います。勿論、日進月歩のリハビリテーション医療や、超高齢少子化社会の中移り変わってく地域のニーズなどに対応する視点にも心を配り、皆様に信頼され、必要とされる病院となるよう努めてまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



東住吉森本リハビリテーション病院 院長  
服部玲治 \*Hattori Reiji



東住吉森本リハビリテーション病院 看護部長  
村田和美 \*Murata Kazumi

## お一人お一人を尊重しながら 患者様とご家族様をサポートします。

疾病や事故により障がいを負われるまでは、それぞれの方が社会や家庭でいきいきと暮らしておられた…。私たちはそのことを忘れず、まずお一人お一人を尊重することが何よりも大事だと考えています。そして、できるだけ快適に過ごしていただけるよう、入院生活の小さなことにも心を配り、優しく温かな看護を心がけています。充実した看護体制のため、患者様やご家族様とのコミュニケーションも大切にでき、お悩み事等の相談もしていただきやすい雰囲気です。退院時には、患者様もご家族様も前向きな気持ちを取り戻され、当院でリハビリテーション医療を受けてよかったと思っただけのような看護を提供していきたいと思っています。

# 一人ひとりの目標に合わせ、 早期回復を支援します。

当院は、地域の回復期医療を担う、回復期リハビリテーション病院として、患者様の早期社会・家庭復帰に努めています。

回復期とは、積極的な手術や治療を必要とする急性期を脱し、病状の安定した患者様が、回復にむけてさまざまな医学的リハビリテーションを行う時期をいいます。

対象となる患者様は①脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態の方（発症後又は手術後2カ月以内）②大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態の方（発症後又は手術後2カ月以内）③外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態の方（手術後又は発

症後2カ月以内）④大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態の方（損傷後1カ月以内）⑤股関節又は膝関節の置換術後の状態の方（損傷後1カ月以内）。

当院では、こうした患者様に、発症後早い段階から、効果的なりハビリテーションを実施することで、患者様の早期回復、QOL (Quality of Life / 生活の質) 向上を実現しています。もちろん、最終的な目標は一人ひとり異なりますので、医師をはじめ各専門スタッフがチームを組み、症状や年齢、家庭環境などさまざまな点を考え合わせた「患者様にとってのゴール」を設定、退院後の生活まで想定した内容で適切な治療を進めていきます。

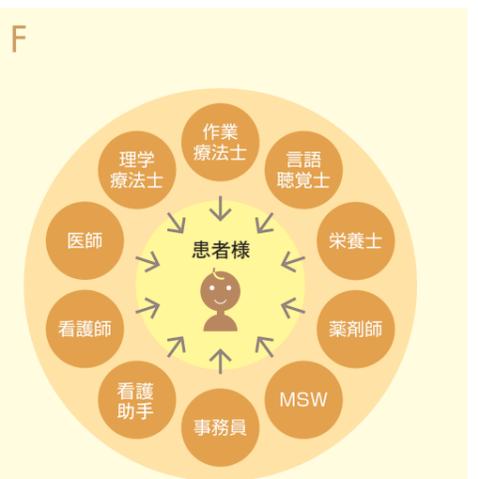
また、退院前には家屋調査や在宅療養へのアドバイスを行い、退院後の療養生活もしっかりとサポート。患者様の1日も早い回復と、社会・家庭復帰を願い、スタッフも全力をあげて支援しています。

### 「入院治療」の領域



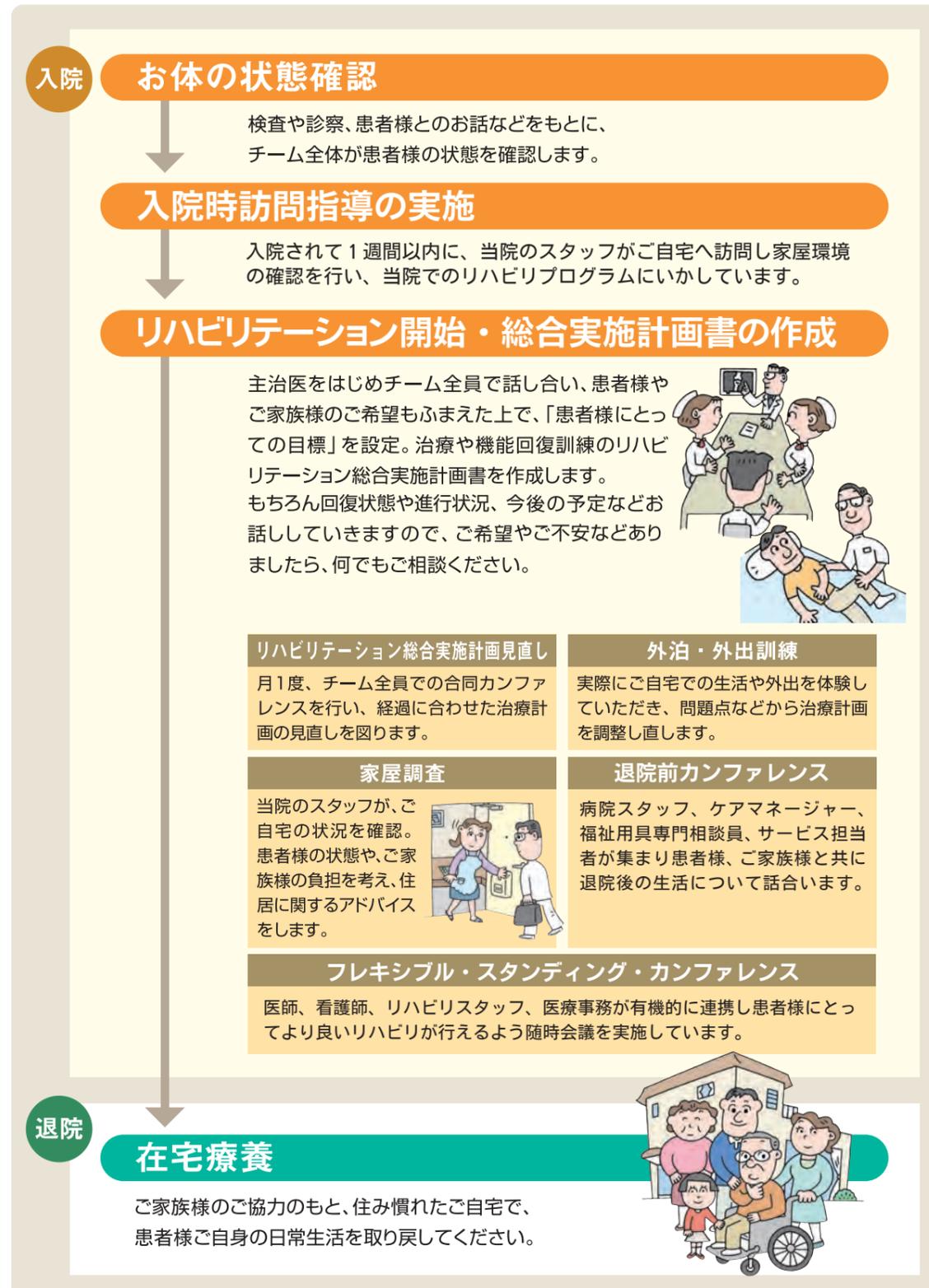
## チーム全員で、 患者様の回復を支えます。

当院では、入院された患者様一人ひとりに対して、各専門分野のスタッフがチームを組み、共同でリハビリテーション治療を行うチーム医療を実践しています。チーム内の綿密な情報交換と連携のもと、さまざまな専門的な角度から患者様を支えることで、早期回復につなげていきます。チームのメンバーは、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などです。



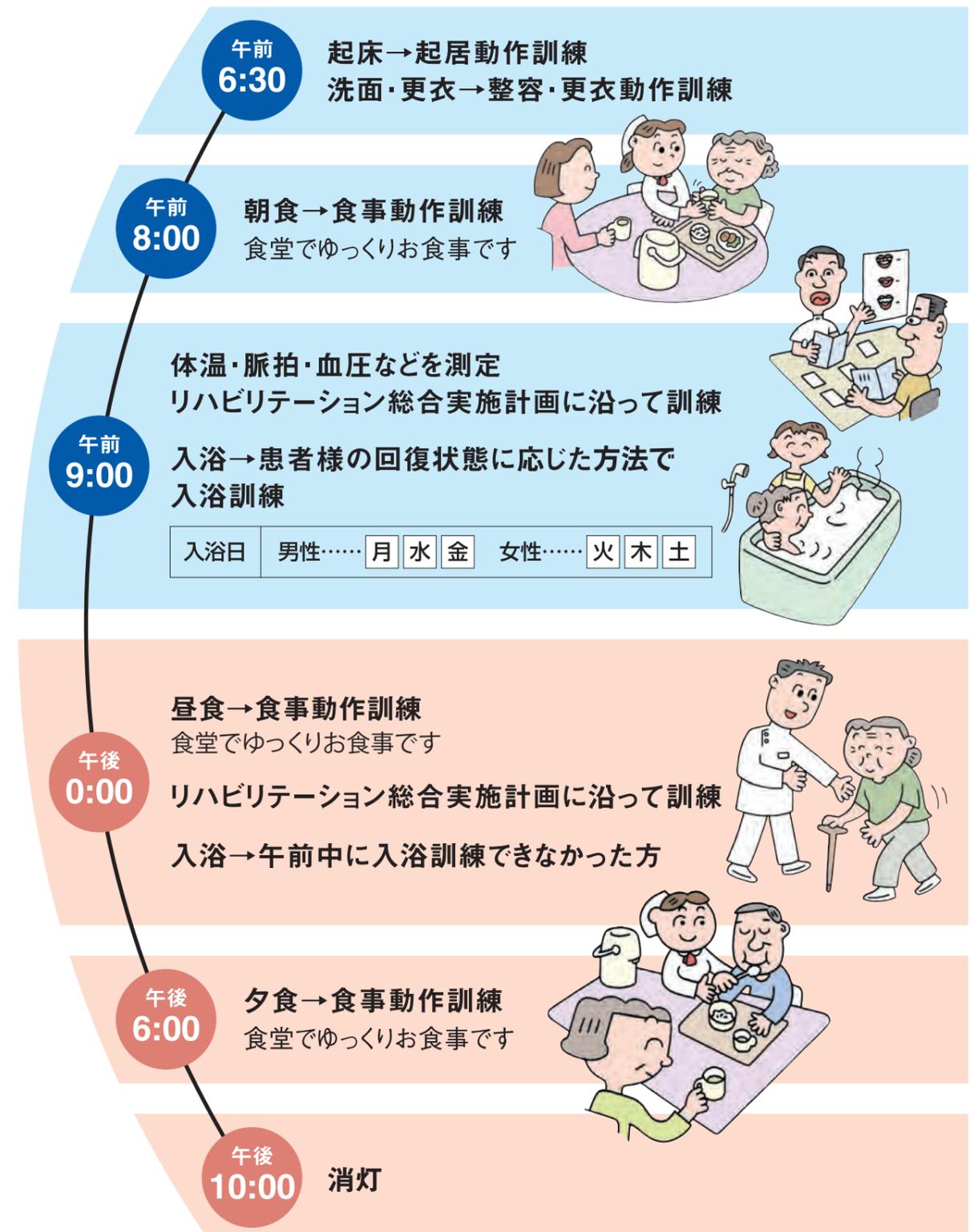
# 適切なプログラムで、 早期回復・スムーズな退院を。

## 入院から退院までの流れ



# コミュニケーションを大切に、 充実した入院生活をお届けします。

## 1日の流れ





# 各職種の紹介

当院では各職種の専門性に合わせてチームで患者様の退院に向けた支援を行っています。

## 看護師・看護助手

幅広い年齢層の患者様が入院されており環境が変わって対応する人も見慣れず混乱してしまう、そんな患者様の気持ちに寄り添える優しい看護を心掛けています。根気よく笑顔でお話を聞き、患者様の不安軽減に努め、日々スタッフ同士意見交換を行い継続した看護を提供しています。また、看護部内でも勉強会を開き学びを深めています。

### 入院案内

入院初日は看護師が半日付き添い生活状態や不安な事を聴取し病棟での生活についてきめ細かくお話をしていきます。



### チーム連携

毎日朝礼、終礼でリハビリスタッフ、メディカルワーカー、ケアワーカー、医師を含め患者様の生活動作状況の報告や情報交換を行っています。



### 生活支援

元の生活に戻れるように生活に沿った生活動作獲得へのアドバイス、家族指導、病棟でのリハビリ訓練等を行っています。



## 医療ソーシャルワーカー



### 当院はさまざまにご相談を承っております

退院後のリハビリについて

傷病手当・労災について

介護保険制度について

身体障がい制度について

成年後見制度活用について

就労支援について

ご退院とは、非日常の「医療」から日常である「生活」へ一歩踏み出す時です。それぞれの患者様が、地域・家庭において自立した日常生活がおくれるよう、社会活動に参加できるように、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)がご相談を承っております。ご家族様のお困りごとについてもご相談ください。

## 管理栄養士

食事は治療の一環として個々の病状や身体に合わせたものを提供しています。入院中に召し上がっていただく食事は食品衛生や食品アレルギーに配慮した食事であることはもちろんの事、季節の食材や行事メニューを取り入れる等楽しんで食べて頂くように心がけています。糖尿病の治療食や、噛むこと・飲み込むことが十分にできない方に配慮した食事を用意しています。(ムース食や刻み食等) また、入院中の患者様を対象に、医師の指示のもと、栄養指導・食事相談を実施しています。長年にわたる給食管理、食品衛生への取り組みや栄養改善活動が認められ、2015年大阪府知事賞を頂きました。



食事形態の一例

## 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

### 理学療法(PT)

理学療法(PT)では、動きにくくなった関節を動かす、筋力をつける、痛みを緩和する等の機能回復訓練を行います。また、起き上がり、立ち上がり、歩行等の動作訓練を行うことで、障がいされた能力の改善を図ります。



### 作業療法(OT)

作業療法(OT)では身体機能の回復を図るとともに、日常生活に必要な食事、整容、更衣、排泄、入浴の訓練、また、料理や掃除などの家事動作の訓練も行っています。

### 言語聴覚療法(ST)

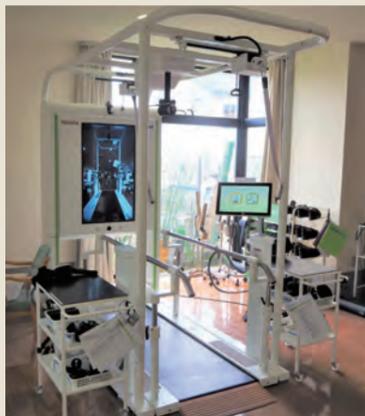
言語聴覚療法(ST)では、主に脳卒中や頭部外傷による後遺症で『コミュニケーションが難しい』『食事がうまく飲み込めない』『集中力が続かない』『記憶力が低下した』などの言語障がいや嚥下障がい(飲み込み)、高次脳機能障がいに対して個別性を重視した訓練を行っています。



# リハビリの特徴

## リハビリテーション 支援ロボット研究チーム

当院は、トヨタ自動車のリハビリテーション支援ロボット「ウェルウォーク」を導入しておりますこの機器は運動学習理論に基づき開発され麻痺側の足に装着するロボット脚のアシスト機能や、前方モニターで常に自分の歩き姿を確認できることが特徴です。ロボットの多彩な機能により、その方に最適な難易度で練習を提供することで、より早く歩行能力が向上する等の効果が期待できます。



▲ウェルウォーク本体



▲足に装着する  
ロボット脚

## ボツリヌス治療研究チーム

ボツリヌス治療とは、近年TV等でも取り上げられている、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血等)の後遺症に対する治療です。具体的にはボツリヌストキシンを成分とする薬を筋肉に注射します。それにより、神経の働きを抑え筋肉を柔らかくし動かしやすくする効果が期待できます。

治療の際にはボツリヌス治療専門のスタッフ(医師、理学療法士、作業療法士)が同席し、身体面の評価を行い、治療目的や希望をお聞きした上で患者様それぞれに合った最適な治療ができるよう日々研究を行っています。



▲手指の状態を評価



▲股関節の状態を評価

## 電気治療研究チーム

当院では麻痺や筋力低下、痛みなどの機能障害を有する方、歩きにくさや手の細かい動きが出来ないなどの能力障害を有する方に電気刺激療法を実施しています。患者様に最適な治療を提供する為に専門のチームを設け、担当セラピストのサポートを行っております。また、リハビリ以外の時間で自主トレーニングが行えるよう電子刺激機器を入院生活で使用して頂いています。



▲当院で使用している治療機器



▲電気治療のリハビリでの使用例

## 高次脳機能外来研究チーム

高次脳機能障がいとは脳梗塞や脳出血などの脳血管障がいや脳腫瘍、外傷、中毒、感染症、薬剤性、免疫性、遺伝性、発達障害、精神疾患、神経変性疾患、脳神経疾患、脳血管性認知症、脳性脊髄損傷、脳性小児麻痺、脳性視覚障害、脳性聴覚障害、脳性言語障害、脳性運動障害、脳性感覚障害、脳性自律神経障害、脳性内分泌障害、脳性免疫障害、脳性代謝障害、脳性栄養障害、脳性水分障害、脳性電解質障害、脳性酸塩基平衡障害、脳性体温障害、脳性呼吸障害、脳性循環障害、脳性消化障害、脳性排泄障害、脳性生殖障害、脳性発達障害、脳性行動障害、脳性感情障害、脳性認知障害、脳性記憶障害、脳性判断障害、脳性注意障害、脳性学習障害、脳性行為障害、脳性感情の障がいのことを言います。目に見えにくい場合も多く、周囲に伝わりにくいことも多い為、日常生活に支障をきたし、発症前のような生活を送ることが難渋する場合があります。当院では主に以下の項目に取り組み高次脳機能改善に向けて支援を行っています。

### 高次脳機能の底上げ

#### 就労支援



▲復職を想定した  
パソコンの操作訓練

#### 自動車運転再開

▼訓練や指導で  
使用している資料



# 当院での退院後のリハビリ

当院は退院後のリハビリとして外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリを揃えており退院後の生活やお体の不安に対応しています。

## 医療保険で実施しているリハビリ

### 外来リハビリ

退院後も継続して在宅生活ができるようにフォローアップを行っています。実施の際には目的、目標を明確に見据えて、リハビリを行っています。外来リハビリの期限が切れた場合でも必要性があれば通所リハビリで継続が可能です。



### 高次脳機能外来

入院している患者様で退院後の自宅での生活や仕事のことで不安を抱えていらっしゃる方は退院後、当院の高次脳機能外来へ移行し、ニーズに合わせた支援を行っています。



### ボトックス外来

脳卒中や神経疾患の後遺症「痙縮(手足のつっぱり)」により、日常生活が送りにくくなっている患者様に対し、ボツリヌス治療を行っています。ボツリヌス治療の専門スタッフ(理学療法士、作業療法士)が身体面の評価やご本人様の希望も把握した上で最適な施用量や部位を検討し、医師によりボトックス注射を行います。注射後も継続的にフォローを行っています。



## 介護保険で実施しているリハビリ

### 通所リハビリ 2019年7月 短時間の通所リハビリテーションサービスを開設

当院を退院された要支援、要介護者が、より自立した日常生活が出来るように支援するサービスとして、通所リハビリテーションを開設しました。切れ間なくリハビリが行えるよう、能力の維持向上、転倒予防や再発予防などのサービスを提供します。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が1時間の個別療法を提供し介護保険でサービスを利用できます。

### 訪問リハビリ

当院を退院された患者様を対象に実施しています。退院後の不安のある方や退院後に自宅での動作練習が必要な患者様に対し、家の環境に合わせたリハビリ(排泄、移動、調理、買い物等)を提供しています。当院の理学療法士、作業療法士が入院時から患者様の状態を把握し、退院後スムーズに訪問リハビリが開始できるよう担当者と連携しています。





# I N F O R M A T I O N

## 病院概要

- 名称……………医療法人橘会  
東住吉森本リハビリテーション病院
- 理事長…………森本 義彦
- 院長……………服部 玲治
- 診療科…………リハビリテーション科
- 病床数…………1病棟52床
- 施設基準等…○療養病棟
  - 回復期リハビリテーション病棟入院料(全床)
  - 回復期リハビリテーション病棟入院料1
  - 脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
  - 運動器リハビリテーション料(I)
  - 呼吸器リハビリテーション料(I)
  - 廃用症候群リハビリテーション料(I)
  - 体制強化加算1
  - 医療安全対策加算2
  - 医療安全対策地域連携加算2
  - 入退院支援加算1
  - 認知症ケア加算3
  - 外来リハビリテーション診療料
  - 入院時食事療養費(I)
  - ／入院時生活療養費(I)
  - データ提出加算2
- 関連施設……○東住吉森本病院
- 横山病院
- 介護老人保健施設たちばな
- 訪問看護ステーションたちばな



**交通案内** 電車 近鉄南大阪線矢田駅 徒歩約15分  
バス 住道矢田停留所 下車徒歩3分

医療法人 橘会

## 東住吉森本リハビリテーション病院

〒546-0022

大阪市東住吉区住道矢田4丁目21番10号

**TEL 06-6701-2121(代)**

**URL** <http://www.tachibana-med.or.jp/morimoto-riha/>

**E-mail** morimoto-riha@iris.eonet.ne.jp

**事業所番号** 2710807609

